

< 議事要旨 >

東名ジャンクション（仮称）上部空間等利用計画（案）づくりに向けて の経過報告会

日時：平成 29 年 10 月 19 日（木）午後 7 時～午後 8 時 30 分
場所：喜多見東地区会館会議室
主催：世田谷区
出席者：19 名

< 区：担当課 >

主催：砧総合支所街づくり課

関係課：都市整備政策部都市デザイン課

道路交通政策部道路計画課

< 区：オブザーバー >

危機管理室災害対策課災害対策担当係長

スポーツ推進部スポーツ推進課スポーツ施設担当係長

障害福祉担当部障害者地域生活課障害者地域生活担当係

みどりのみず政策担当部みどり政策課公園緑地事業担当係

教育委員会事務局教育環境課教育環境担当係長

生涯学習部生涯学習・地域学校連携課文化財係担当係長

開会

上部空間等利用計画（素案）ゾーニングの修正概要等について

- 1）（素案）作成の経緯
 - 2）（素案）ゾーニングの修正経緯
 - 3）（素案）ゾーニングの修正概要
 - 4）（案）づくりに向けての今後の進め方
- その他、連絡事項
- ・換気塔の色彩デザイン募集について（都市デザイン課）

< 以下、意見交換 >（：当日説明に追加の説明を記載しました。）

換気塔デザインについて

住民（以下「住」と表記） 10 月 1 日からデザイン募集が始まっているが、換気塔の位置、大きさ、形状については、外環事業者が今後詳細に検討し、説明するということがあった。上部空間の検討会参加者は一切分かっていない状況で、進めることになった経緯を教えて欲しい。

世田谷区（以下「区」と表記） 今年 7 月 30 日のオープンハウスで示された環境アセスメントの概略形状に基づきデザイン募集を行っている。概略形状の寸法は、幅約 20m、高さ約 30m、奥行き約 5m である。区はデザイン募集を 10 月 1 日から始め、区報とホームページで募集をおこなっている。

（：換気塔の詳細な形状は、外環事業者が検討中であり、今後地域の皆様の意見を聴きながら設計時において、詳細に検討していく予定であると聞いている。）

住 外環事業者は換気塔の工事の際に説明会を開くと言っていたが、まだ開かれていない。地域課題検討会でも、換気塔の形や本線の立坑を利用するかについての明確な回答がなかった。オープンハウスで掲示したとのことだが、オープンハウスへ行ける人は限られている。そうした状況で区がデザイン募集を進めるのはおかしい。やり直してもらいたい。

住 外環事業に関しては、これまでそれぞれの進行の前に地元で意見を聞く手法が進められてきた。まずは住民に提示し意見等があれば受けるという流れであった。しかし、換気塔についてはまだ住民に一切説明がない。そうした中、デザイン募集をすること自体がおかしい。

住 殿山横穴墓群の活用検討会の中で、外環の施設等においては殿山横穴墓群が何らかの形で活用を図るべきだと取りまとめられている。今回のデザイン募集では、取りまとめが反映されていず、殿山横穴墓群について全く触れられてなかった。

住 殿山横穴墓群は、外環事業により失われたのだから外環の施設で活用する責任がある。目の前にできる換気塔に殿山横穴墓群のデザインを入れるのが筋である。

住 上部利用計画の具体化は外環事業の完了後ということだが、換気塔がデザイン募集している形状等そのまま施工されるとしたら、これまでの説明と全く異なることを皆さんはよく理解して頂きたい。

住 デザイン募集において殿山横穴墓群の活用検討会のとりまとめが反映しているのか説明がない中で、いきなり区報で募集というのは少し拙速だと思う。デザイン募集はもう一度考え直すべきである。

区 換気塔の高さ等の概略の形状については、オープンハウスで示されているが、いただいた意見は外環事業者に伝える。

(: 換気塔の詳細な形状は、外環事業者が検討中であり、今後地域の皆様の意見を聴きながら設計時において、詳細に検討していく予定であると聞いている。)

区 換気塔のデザイン募集については、区が必要性を判断し募集している。砦の原風景を大切にするという上部空間利用の基本方針や殿山横穴墓群があったことをしっかり踏まえたうえで、審査員として地域の皆様のご協力をいただきながら最終的に選定することを考えている。デザイン募集のホームページで殿山横穴墓群についても触れており、今後、色々なシーンで殿山横穴墓群と外環と一緒にアピールしていこうと考えている。

住 換気塔の形状等が決定されていることを前提にデザイン募集しているのか。形状等については、色々な意見を集約して欲しい。

住 換気塔の形状等について、環境影響評価書では今後検討すると書いてあり、四角になるとは書いてない。殿山横穴墓群に関する活用検討会のとりまとめが組み込まれると期待していたが、区が拙速すぎる。こうした意見を上司に報告して欲しい。

住 換気塔については、大きさや平面図の形はこの通りであったが、地下部分にどんな機械を入れるのか、煙突は丸型なのか、何本建てるのかなどは、地元と相談すると外環事業者は説明していたが、地元で全く相談がない。今日の皆さんの意見を聞いた上で、デザイン募集を継続することについて、世田谷区は良いと思っているのか。一旦白紙に戻してもらいたい。

住 環境アセスメントを読めば、今回の区の行動が拙速な行動だということがわかる。一度、デザイン募集は白紙に戻して欲しい。こういう意見があったということを区長に伝えて欲しい。

区 直方体の形状については、環境影響評価書でも示されている。

区 オープンハウスで示された換気塔の概略形状に基づき、デザイン募集を行っている。

住 外環事業に関するこれまでの手順を踏んでいない。今までは必ず何か工事があるときは説明会を開いていた。外環事業者は今日は来ていないのか。今後、外環事業者と相談して説明会をいつ開くのか、日程を示して欲しい。

区 今日はあくまでも上部空間等利用計画(素案)のゾーニング図の一部修正の経過を報告するためのものなので、外環事業者に出席は依頼していない。今日の意見は外環事業者に伝える。

(: 今回のデザイン募集は外環事業者が実施する設計に先立ち色彩候補案を提案するために実施しているものであり、提案後すぐに換気塔の工事が始まるとは聞いていない。)

住 区として、デザイン募集を停止するか、今判断して欲しい。

区 ここでは結論を出せない。

住 換気塔は地域にとっては、生涯目の前に建つものなのでたった 2 ヶ月間で決めないで欲しい。世田谷区 85 周年記念事業や砦の原風景にふさわしいというレベルのコンセプトでやられては本当に困る。

住 上部空間ワークショップの中でデザイン的なことも検討してきた。我々は何のためにやってきたのか。今日の出席者が審査員になるべきだ。学識の人に決められたのでは納得できない。

区 地域の方には審査員としてご協力いただくことを考えている。

上部空間等利用計画(素案)について

住 上部空間等利用ニュース No.5 の 3 ページの図だが、野川、世田谷通り、中野田橋、雁追橋に囲まれた「みどりのみずと農のある憩いの公園」に変更は無いと捉えてよいか。

区 上部空間等利用ニュース No.3 でも示しているが、区は将来的に「みどりのみずと農のある憩いの公園」から野川の遊歩道を通して、北側にある喜多見ふれあい広場などに行ける休憩ポイントとして位置付けている。今後、関係者と調整する。

住 図面(20P)については、まだ説明されていないものが記載されている。茶屋道橋の紫色(料金所エリア)と大蔵5丁目の紫色(管理用の通路)は何か。

区 それぞれ外環の管理用施設として利用されると聞いている。

住 管理用の通路が高架でできるのであれば、我々の想像と異なるため外環事業者から説明して欲しい。

住 管理用の通路により「みどりのみずと農のある憩いの公園」が(素案)から大分減っている。区は高低を分かっているのか。

住 実態を把握しないで計画を修正するのはおかしい。

区 平面的な図面のみで具体的な高さなどは把握できていない。外環道の管理用施設も含め外環事業が優先されるものと区は考えている。その上で、利用可能な部分を有効に活用するのが区の上部利用計画の考え方である。

住 掘割や高架部分については道路敷地から 20m の範囲に緩衝緑地を整備するという説明だった。

住 管理用の通路についてもできるだけ緑地部分を確保するべく、設計してもらいたい。

区 本日いただいたご意見を外環事業者へ伝える。

住 水道橋と茶屋道橋の間に管理棟が作られるのか。

住 管理棟は何階建ての建物か。また、図面(25P)の新たな利用検討区域に、避難用の四角いハッチ状のものがあるが、建物的な避難所ができるのか。そこに避難施設を置くのか。

住 管理棟としてどのような計画なのか、情報をもう少し詳しく知りたい。上部利用を考える上でどういう建物が建つのが重要だ。

区 料金所などの管理用施設として計画していると聞いている。

管理棟の階数は聞いている。避難施設については具体的な話は聞いていないが、平常時はある程度の条件はあるものの、上部が利用できると聞いている。今後意見を伺い検討する。

住 図面(22P)の機能補償道路について、茶屋道橋から喜多見大橋に向かって、都市計画線に沿って真直ぐに整備することになっているが、そうならないと聞いている。道路ができないと土地の価値が違って来る。また、世田谷通りから入る旧大山道は通り抜けるのか迂回するのかによって上部の利用方法が違って来る。

区 当該機能補償道路は、機能補償道路(案)では検討中となっているため、上部利用ニュース No.5 の図面もそれを踏まえて記載している。旧大山道は現在残す方向で考えている。利用保留区域は機能補償道路(案)で示す検討中の線形を踏まえて形状を変更している。利用方法については今後検討する。

住 今回、オープンハウスの資料掲示をもって地元へ告知したと区が認めたような前例をつくった。今後の工事の説明会を外環事業者がオープンハウスで掲示することで終わらせてしまうことのないよう、これからは手順を確認した上で説明を果たして欲しい。

住 先ほどから「とねやま横穴墓群」と言っているが、名称は「とねやま」で決定したのか。
区 名称については、今後の課題であると認識している。

住 水害予防について、東名高速道路に集中豪雨が降るとかなりの水がそのまま野川に流れている。図のピンク色の防災ゾーンに貯水池を作ること地域住民から街づくり課へ提案している。東名だけではなく JCT の高速道路路面から野川に一気に放水されてしまうことが心配だ。今回の図面には反映されていないので、今後反映して欲しい。

住 南進以前にこの JCT ができる時点で相当な水が豪雨によって放水されることを心配している。今も必要と思うので、南進の時まで待ってられない。

区 素案をまとめる段階でも同じ提案があった。外環道の東名以南の整備が決まるまでは暫定的に防災広場での利用を考えている。地元の要望を受けて、今後も課題として検討する。

区 世田谷区では、各施設を作るときに雨水流出抑制をお願いしている。東名 JCT についても、雨水対策の協力を依頼している。